

寅さん歩 その 25

谷端川の流れを歩くー5

(最終回)



平野 武宏

前は「明治通り」から豊島区内を経て文京区に入り、「不忍通り」までの「谷端川（やばたがわ）」の流れを歩きました。今回は最終回で合流する神田川までを歩きます。写真下は文京区内の谷端川の流れです。谷端川は文京区内では小石川（礫川）と名前が変わります。写真右上は水道橋の上から見た神田川です。久しぶりに水のある川を見ました。

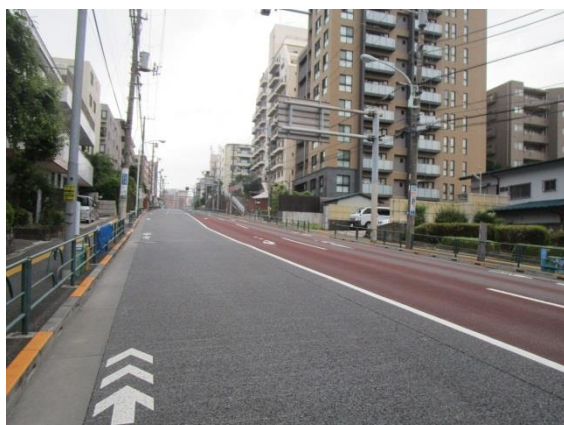


バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔不忍通り〕

谷端川は「不忍通り」を横切り、直進して流れます。「不忍通り」は文京区目白台の「目白台通り」目白台2丁目交差点から台東区上野の「中央通り」の上野4丁目交差点に至る延長8kmの都道です。沿線にある上野不忍池に因んだ名前です。寅次郎の住む豊島区北大塚から「不忍通り」の千石3丁目交差点までは歩いて約20分で大好きな散歩道として寅さん歩に頻繁に登場します。

写真下左は巢鴨、千駄木、上野方面、写真下右は千石三丁目交差点から護国寺、目白台方面です。交通量の多い道路ですが、早朝で車はほとんど見られません。



〔猫狸橋（ねこまたばし） 親柱の袖石〕

写真下左の手前が「不忍通り」で、猫狸橋はこの交差する所にかかっていた橋の名で猫又・猫股・根子股・根本股と様々に書きます。渡った左側に親柱の袖石(写真下右)と説明板があります。谷端川（千川）は写真下左の建物と建物の間の細い道を直進して流れます。



説明板には「この辺りに狸がいて、夜な夜な赤手拭いをかぶって踊るという話があった。ある夕暮れ時に、大塚辺りの道心者（少年僧）がこの橋の近くに来ると、草の茂みの中を白い獣が追ってくるので、すわ狸かとあわてて逃げて千川にはまった。それからこの橋は猫狸橋（猫又橋）と呼ばれるようになった。猫狸とは妖怪の一種である」と記載。

FWAホームページのリンク先にあるJVA（日本市民スポーツ連盟）ホームページの「平野寅次郎のYR散歩」No25 文京の坂 113 ⑥大塚ブロックをご覧ください。

〔千川通り〕

「不忍通り」を横切った川の流りは写真下左の辺りで右折し、並行して通っていた「千川通り」（写真下左）に入ります。道名の由来は千川（谷端川）によるものです。「千川通り」は豊島区上池袋からは「宮仲通り」、大塚駅南口交差点からは「プラタナス通り」、文京区に入り「千川通り」と呼ばれます。練馬区の暗渠化された千川上水の上を通る「千川通り」とは繋がっていません。



谷端川の流りは「千川通り」を進み、写真上右の窪町東公園の交差点を直進します。交差点は右に行くと湯立坂から茗荷谷駅方面、左に行くと小石川植物園・東京大学総合研究博物館小石川分室、簸川神社方面です。



千川通り沿いには多くの見所があります、写真上左は右側に見える播磨坂桜並木です。**寅さん歩 253 東京の桜 2019-2**をご覧ください。写真上右はその先にある共同印刷の建物です。昔の氷川町下町会史地図には川の流れの脇に共同印刷の建物が書かれていました。えんま通り商店街まで来ると、前方に文京シビックセンター（文京区役所）と東京ドーム（写真下左）が見えてきます。写真下右は右側に見える「こんにやく閻魔」で有名な源覚寺の入り口です。



寅さん歩 120 お江戸の閻魔大王-2、寅さん歩 48 健康ご利益めぐり-10 文京区-1、寅さん歩 99 江戸・東京の祭 28（江戸らしい祭）をご覧ください。

〔春日通り〕

谷端川は「春日通り」を横切り直進します。「春日通り」は豊島区東池袋の明治通りの六ツ又陸橋より文京区、台東区を経て墨田区横川の横十間川に至る延長11kmの東西方向の道路です。「春日通り」の名は第3代将軍徳川家光の乳母で大奥制度を築いた春日局に由来します。写真下左は「春日通り」の富坂下交差点です。左は本郷方面、右は茗荷谷、大塚方面です。谷端川は文京シビッセンターの脇を直進、右には丸の内線後楽園駅、前方に東京ドーム（写真下右）が見えます。FWAホームページのリンク先にあるJVA（日本市民スポーツ連盟）ホームページの「平野寅次郎のYR散歩」No19、No26、No27 文京の坂113 水道橋、小石川ブロックをご覧ください。



谷端川の流れは直進して東京ドーム脇を左折（写真下左）、東京ドームシティの中の東京ドームと遊園地の下（写真下右）を流れ、「外堀通り」に出ます。東京ドームシティの敷地は旧水戸殿屋敷で戦前は旧陸軍砲兵工廠がありました。



〔外堀通り〕

東京駅八重洲口の中央区八重洲 2 丁目を起点に千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区を経て皇居の周りを一周する延長 13 k m の道路です。J R 山手線や J R 総武線に沿い主要な駅前を通るため沿道は多くのオフィスビルが立ち並びます。「外堀通り」の名は江戸城の外堀に由来します。写真下左は水道橋交差点から見て左は飯田橋方面、右はお茶の水方面で前方は東京ドームシティです。写真下右は谷端川の流れが「外堀通り」を横切った辺りです。



〔仙台橋跡(市兵衛河岸)〕

千川上水の長崎分水から流れ始めた谷端川はついに神田川に合流します。資料によると水道橋と小石川橋の間に仙台橋があり、仙台橋（仙台藩が架けた橋）の下から合流とされています。現在、仙台橋はなく市兵衛河岸防災船着き

場（写真下左）となっています。写真下右は水道橋上から奥にある小石川橋が見えます。この間に仙台橋があったそうです。



豊島区立郷土資料館友の会の資料によると、この日に歩いた「谷端川」には 15 の橋がかけられていたそうですが、ほとんどで橋の跡がモニュメントとして残されていませんでした。谷端川の記録に残る橋は椎名町駅から神田川まで合計 67 の橋があるとのこと。今は暗渠化されて道路になっている「谷端川」の流れをたどり、自分の足でその流れを確かめることができた貴重な体験でした。

【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道（道中）」と共用なので

宇都宮を出発点としました。2020 年 12 月 23 日栃木県宇都宮市を出立、2021 年 8 月 7 日、青森県竜飛岬（江戸から 830 k m）に到着しました。今回はコロナ禍で東京都は緊急事態宣言が発出される中での旅でした。又 3 月は前立腺がんの手術という予期せぬ出来事がありました。元気でゴール出来た自分をほめたいと思います。歩けることに感謝です。



新型コロナウイルス感染拡大の終息には程遠い状況です。運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離をコースシート上のマスを色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。今回は3枚のコースシート（写真上）でした。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」には各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないように又こまめに水分を取り熱中症にご注意を！

平野 寅次郎 拝